

## 12/3 伊讚美自治会が コミュニティセンターを建設



令和7年度コミュニティセンター助成事業を活用し、伊讚美自治会がコミュニティセンターを建設しました。この事業は（一財）自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動の充実・強化を目的に助成しています。

## 12/12 子どものたのしい遊び場 ちっくん広場で15万人達成



オープンから8年10か月でちっくん広場の来場者数が15万人に達しました。15万人目になったのは篠崎奨真くん家族。母英恵さんからは「天気に関係なく遊べるのでよく利用しています。記念すべき日に来られてうれしいです」と喜びの笑顔が溢れました。

### 企業版ふるさと納税

日本アイ・エス・ケイ（株）様 ハムリー（株）様  
曾根 栄二代表取締役社長 鈴木 照雄取締役会長



広沢グループから健康づくりに関する事業に対して合計800万円の寄付をいただきました。  
(本社：台東区)



安心・安全な暮らしを守るための消防団活動費として、200万円の寄付をいただきました。  
(本社：古河市)

## 12/11 川島小学校で出前講座 人面土器で歴史を楽しく学ぶ



川島まちづくりプロジェクト（水木洋三代表）が川島小学校の6年生約70人を対象に、土器作りをとおして地域の歴史を学ぶ講座を開催しました。児童たちは女方地区で発掘された人面土器について学んだ後、紙粘土を使って土器づくりに挑戦。一つひとつ個性が光る仕上がりで、児童はお互いの作品の感想に花を咲かせました。

## 12/22 テレビ番組「新美の巨人たち」 しもだて美術館で撮影



テレビ番組「新美の巨人たち」の撮影が、しもだて美術館で開催されている企画展「GOMA ひかりの世界」で行われました。ミュージシャンで俳優のシンド・カフカさんが本展を訪れ、GOMAさんとの音楽のセッションも収録されました。ぜひ放送をご覧ください。

■放送日：2月7日（土）午後10時～  
■番組名：新美の巨人たち（テレビ東京）

## 12/25 作文コンクールの 優秀作品を表彰



市内の小学5、6年生と中学生を対象に実施した、男女共同参画作文コンクールの表彰式を行いました。小学校の部201点、中学校の部445点の応募があり、その中から賞に選ばれた8人を表彰しました。入賞作品は図書館などで読むことができます。

## 11/22 男女共同参画社会を目指して 女性が活躍していくために必要なことを考える講演会



市男女共同参画推進講演会「私のアップデート～働き方から生き方まで～」をアルテリオで開催しました。講師にはコラムニスト・ラジオパーソナリティのジェーン・スー氏を迎え、女性が活躍していくために必要な意識の変化などについて講演いただきました。

当日は市内外から約120人が参加し「話がとても興味深く、元気をもらいました」との声が聞かれるなど、無意識での性別役割について理解を深めていました。

## 11/23 終活をテーマに市民講演会 エンディングノートについて学ぶ



市在宅医療・介護連携推進委員会主催の講演会「その日のために、今日できること～エンディングノートから始める終活～」が開催されました。講師に明石久美氏を迎え「筑西市人生引継ぎ帳」を活用した講演は、エンディングノートを使った終活について理解を深める、貴重な機会となりました。参加者からは「終活に対する漠然とした不安が解消され、何から始めれば良いのか具体的なイメージが持てました」などの前向きな声が聞かれました。

## 11/27 道の駅で施設整備工事始まる 起工式で安全を祈願



※遊具のイメージ図

道の駅グランテラス筑西で施設整備工事施工に伴う起工式が行われました。

本工事は道の駅グランテラス筑西の駐車場不足の解消と遊具施設の拡充を目的に行われるもので、令和8年度末までに駐車場の増設及び障がいの有無にかかわらず遊べる遊具の完成を目指します。

## 11/29 歴史探検バスツアー開催 中学生が市内の寺社などを巡る



中学生を対象に市の魅力を知ってもらうため、小栗内外大神宮や最勝寺などを巡る歴史探検バスツアーを開催しました。本ツアーはちくせいシティプロモーションプロジェクト会議で考案されたもので、参加者は「市内でも初めて訪れる場所ばかりでおもしろかった」と新たな魅力を発見していました。

## 12/10 地域の魅力を改めて発見！ 筑西市の見どころ再発見バスツアー



ちくせい観光ボランティアガイド協会（諏訪光一会長）主催でバスツアーが開催されました。当日は市内外から参加があり、伊達氏の祖先ゆかりの地である観音寺で、伊佐氏について学んだり、県指定有形文化財の螺鈿硯箱を見学したりしました。参加者は「知らない魅力がたくさんありました」と市の魅力を改めて感じていました。

## 11/27 野球チーム筑西 RISE が 大会成績を報告



筑西 RISE が令和 7 年度オールジャパンベースボールリーグ 2025（中等部）茨城県予選で優勝し、同全国大会に出場したことから、市役所を訪れ設楽市長に結果を報告しました。市長は「さらに上を目指して頑張してほしい」と選手を激励しました。

## 11/28 筑西ベースボールクラブが 戦いぶりを報告



筑西ベースボールクラブが、令和 7 年度オールジャパンベースボールリーグ 2025（中等部）茨城県予選での準優勝や、同全国大会でのベスト 8 など、さまざまな大会で優秀な成績を収めました。選手は日々の練習の成果が実ったと、喜びを設楽市長に報告しました。

## スポーツ

Sports News

### 第 32 回全関東空手道選手権大会

10 月 5 日  
茨城県武道館（水戸市）



【小学 2 年生女子の部】  
優勝 柴田 陽葵（養蚕小 2 年）

### 第 21 回全国ジュニア自転車競技大会

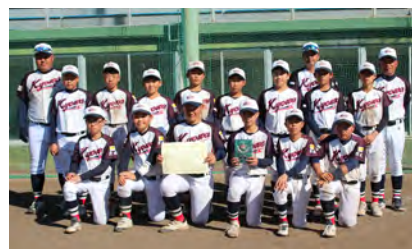
10 月 26 日  
水沢・桜地区特設コース（三重県）



【小学校 4・5・6 年生男子（2.2km）の部】  
優勝・学年別 1 位  
伊藤 岳（中小 5 年）

### オールジャパンベースボール リーグ小等部 2025 全国大会

11 月 22 日～ 24 日  
蒲郡球場（愛知県）



第 3 位 協和ジュニア



Think globally, Act locally ～地球規模で考え、地元から行動する～



「すみつかれ」が恋しい季節になりました。

この季節になると、スーパーではサケの頭が売り出されます。鬼おろしで大根を大量におろし、サケの頭と大豆、酒かすなどで煮込んだ郷土料理。わが家では、小さいころはおばあちゃんが、今では母が作る、私の大好きな待ち遠しい味です。

すみつかれは、2 月の一の午から三の午まで 3 回にわたって作り、毎日の食卓に並びます。たんぱく質や食物繊維と栄養満点であり、昔から食物が少なくなる 2 月によく食べられてきました。

風邪をひかないためにも、3 軒の家のすみつかれを食べると良いと言われ、この時季に外を歩く

と手のひらにすみつかれを乗せてくれます。さらには、タッパーに大量のすみつかれをいただくことも。ぜひ、みんなで郷土料理を食べながら、健康を意識してまいりましょう。



すみつかれの  
作り方▶▶  
出典：茨城県



すみつかれの調理には欠かせない  
鬼おろしを持つ設楽市長